

# 楠原だより

あけまして

おめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。令和三年、二〇二一年が始まりました。昨年末からの新型コロナウイルスの猛威の影響で、例年とは様子の違う年明けだったような気がします。新型コロナウイルスがいつ終息するか全く分からない状態ではありますが、これまでやってきたことを地道に継続していきながら、子どもたちにとって充実した『まとめの三学期』となるよう取り組んでいきたいと思っております。本年もどうぞよろしく願っています。

## 三学期にがんばりたいこと

始業式では、二年・四年・六年生の代表が「三学期にがんばりたいこと」を発表してくれました。紹介します。

三学期にがんばること  
二年 はまむら いろは  
わたしは三学期にあいさつをがんばりたいです。朝、校長先生と会った

めげず児童画像  
思いやりのある子  
楽しく学ぶ子  
たくましい子

とき、なかなかあいさつができませんでした。三学期は、元気に、「おはようございます。」とあいさつしたいです。

わたしの友だちにあいさつがとてもし上手な人がいます。その人をお手本にしてあいさつが上手にできるようになりたいです。

三学期にあいさつをいっぱいできるように頑張って、あいさつの名人になります。

三学期にがんばること

二年 こやなぎ ひろと

ぼくが三学期にがんばりたいことは、人の話をよく聞くことです。二学期には、先生のお話を聞くことができない時がありました。話を聞かないと次にすることが分からなかったです。だからしっかりと先生の話が聞きたいです。そのためには、話している人の方をしっかり見ます。

三学期にがんばりたいこと

四年 山里 奏龍

ぼくが三学期にがんばりたいことは、友だちの名前に「くん」「さん」

をつけてよぶことです。なぜかというと、一学期や二学期に、「くん」や「さん」をつけずによび捨てにしていた。よび捨てで友だちをよんでみると、その友だちがいやな気持ちになってしまふことがありました。ぼくも、友だちと遊んでいるときに、よび捨てにされることがあります。その時、よび捨てされるといやな気持ちになるといふことに気づきました。だから、自分が言われたり、されたりしていやな気持ちになったので絶対に友だちにはよび捨てにしないと思ひました。

ぼくは一階のリーダーとして、一年生から三年生までのお手本になるように、友だちに「くん」や「さん」をつけて名前をよんでいきたいと思ひます。

三学期に頑張りたいこと

六年 谷川 紗也香

私は、三学期に頑張りたいことが二つあります。一つ目はあいさつです。私は、二学期に自分からあいさつができていないことがありました。だから、三学期からは、自分から相手の目を見て、名前をつけてあいさつができるようになって、低学年のお手本になりたいです。

二つ目は、卒業式です。卒業式では、しっかりと大きな声で返事をし



たり、言葉をおぼえたりして、卒業式本番では大きな声で、ゆつくりとはきはき言えるようにしたいです。そして、思い出に残る卒業式にしたいです。

三学期からは、卒業式に向けて、いろいろな準備をしながら、低学年のお手本になる事を忘れずに残りの学校生活を楽しみ、頑張りたいです。

年ほぎの  
朝を楽しみ 童ども  
騒ぐ声にも 力籠れり  
(伊藤左千夫)

子どももの頃、毎年正月が来るのが楽しみだったことを思い出します。もちろん「お年玉がもらえるから」という物欲？もあります。しかし、正月というとき、自然と心がわくわくしたような気もします。新しい年を無事迎えることのできるありがたさや新しい年に対する期待が入り混じっていたのかも知れません。

学校に子どもたちが戻ってきました。世の中はまだまだ厳しい状況にありますが、子どもたちの元気な声を聞き、姿を見るところが湧いてきます。全職員一丸となつて、実り多い充実した三学期になるよう努めて参ります。

